



様々な取組を通じた地域の一体化の推進

しもよしい なかがわ
下芳井ほたるの会 (栃木県那須郡那珂川町)

那珂川町の西部に位置し、集落の中央を権津川が流れている水田地帯において、農地、農道、水路の保全管理に取り組んでいる。

農業者以外の自治会や育成会、婦人会など地域の各種団体と連携し、地域が一体となって、保全活動に取り組み、地域コミュニティの強化につながっている。

【地区の概要】

- ・取組面積: 25.1ha
(田23.8ha、畑1.3ha)
- ・資源量: 開水路 3.0km
農道 2.0km
- ・構成員: 自治会、育成会、婦人会、老人会等
- ・交付金: 約1.1百万円
農地維持支払
資源向上支払(共同活動)

活動開始前の状況や課題

- 昔から道普請、草刈り、堀ざらいなどの活動を通じて地域資源の保全管理に取り組んでいる。
- 農業者の高齢化や非農家が増加していることから、今後も地域資源の保全管理を実施していくには、地域コミュニティの強化が必要であると考えられた。



水路の泥上げ



農道の砂利敷き

取組内容

- 地域外の住民にも積極的に声をかけ、育成会と連携し、生き物調査を実施している。
- 婦人会や育成会が中心となって、遊休農地にひまわりや菜の花を植栽している。
- 地元養蜂家の協力を得て蜂蜜しぼり体験会やほたる鑑賞会を開催している。



生き物調査



ほたる鑑賞会

活動の効果と今後の展開

- 各種取組の結果、地域コミュニティの強化につながった。
- また、県、町の職員や大学教授を交えたワークショップを通じて、5～10年後の地域営農の目標や取組内容を「地域営農ビジョン」として作成し、取組目標の一つである農産物直売を実現した。



営農ビジョンのイメージ図



ワークショップ